雑がみの出し方の例

2020.01 現在

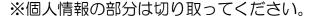
もやせるごみの中には、資源になる雑がみ(紙類)が多く含まれています。パンフレットやお菓子の包装紙などは、雑がみ(資源ごみ)としてごみステーションに出すことができ、もやせるごみの減量化になります。※雨の日はできるだけ次回の収集日に出してください。

- 雑誌と一緒にひもで縛って出す以外に、写真のように紙袋にいれて、ひもで縛って出すこともできます。
- ▶ 小さな紙切れやはがきは雑誌の間に挟んで出 すこともできます。



雑がみの例

- ティッシュ箱(取出し口のビニールを除いたもの)
- 菓子箱
- 靴の箱や薬の箱
- 画用紙や模造紙
- 包装紙
- 名刺
- メモ用紙
- プリント
- 封筒(窓部分のフィルムを除いたもの)
- チラシやダイレクトメール
- 年賀状(写真印刷用のものでないもの)
- パンフレット
- ・ノート
- カレンダーやポスター
- ラップやトイレットペーパーの芯
- 紙製のファイル(金属、プラスチックを除いたもの)
- 紙袋や米袋
- 雑誌



※新聞、段ボール、紙パックは一緒にせず、「雑誌類(雑誌)」の分類で、収集日に出してください。(収集日等は、ごみ分別収集カレンダーでご確認ください。)



箱状の紙は開いてください